

秋田ばっけの会便り

No.109 (2024年10月号)



KHJ秋田ばっけの会
090-9539-2365
khjakitabakke@gmail.com

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

* * * * *

第99回「集い」 10月12日(土)



15名の参加でした。ST代表からはご挨拶の中で、『生きベタさん』(釈徹宗・細川貂々著/講談社)のご紹介もありました。参加者それぞれの「今」をお話いただきながら、事務局からは最近の状況として、① [いわて石わりの会] の代表が作られた「居場所」(陸前高田市) 訪問、② 秋田県の実態調査に関する官民意見交換会、③ KHJ本部のことを報告させていただきました。

後半は、経験者のKKさんからの話題(課題?)「〈自分の子は(今はひきこもっているが)やれば(練習なしでも)できる〉と

思いますか?」について、それぞれの考えを述べ合いました。私たちは多くがトライ&エラーを経て様々な力を身につけてきているが、その経験がないひきこもりの人は、いきなり何かをやってもできないのではないかと、練習が必要なのではないか、という趣旨のようです。例えば「コミュニケーション」や「会話」も練習しないと、親も子も、と。久しぶりに参加下さったOIさんからの率直な話題提供のおかげもあり、真剣で活発な「対話」が展開されました。

[秋田ばっけの会] は、とてもいい練習の場になると思います。皆さまぜひ参加してみてください。

* * * * *

本人の会「居場所」 10月20日(日)



横手のTEさん、IEさんもいらして14名で行いました。2年前国際教養大学で学んでいたポルトガル出身のFFさん、今は金沢大学におられるとのことで、1日かけて金沢から秋田まで来て下さいました。それぞれ、体調や心配事、陸前高田市での感想など話した後、「ひきこもりと環境(都会と田舎)」が研究テーマらしいFFさんへの質問が皆から次々と出され、思いがけない国際交流になりました。日本とポルトガルの比較、いじめのこと、都会と田舎の比較、さらに世代比較(20代から80代までいる[秋田ばっけの会] ならではの) などなど、互いにスマホの助けを借りながらの会話が続き、「また来て下さい」にFFさん嬉しそうに「いいですか? また来ます」と。惜しみながら閉会しました。「心が躍るくらいに楽しい時間でした。」との感想をIEさんからいただきました。



* * * * *



スタッフ運営ミーティング 10月12日の「集い」終了後に短時間のミーティングを行いました。率直な意見を出し合うことができ、スタッフの合意で会を運営できることを嬉しく思いました。

秋田ばっけの会 2024年11月の予定

●第100回「集い」

日時; 2024年 11月 3日(日) 13:30~15:30
会場; 秋田市役所内センター3階 和室1・2

※11月9~10日のセンターまつりのため、1週間繰り上げました。

●本人の会「居場所」

日時; 2024年 11月16日(土) 13:30~15:30
会場; 秋田市役所内センター3階 和室1・2

●運営ミーティング 11月3日(日)「集い」終了後に予定しています。



《報告・情報・紹介》

★ 10月5日、秋田ばっけの会関係者9名で、ジャンボタクシーや自家用車で岩手県陸前高田市の佐々木善仁さんが開設した居場所「虹っ子の家」を訪問しました。目的は、佐々木さんのお話を聞くことと他県の方々との交流でした。宮城県の方々5名と合流し、他に訪問者2名総勢17名が集い、3時間ちょっとという短い時間でしたが豊かな時間を過ごしました。

佐々木さんは、2011年の津波で奥様とひきこもっていた次男の方を亡くされ、今に至るまでのことを話してくださいました。流暢ではないけれど穏やかな静かな口調が胸に染みってくるような気がしました。宮城の方々は、どうしたら会の存在を広く知ってもらって来てもらえるかと考えているようで、話し合う中で当事者会の意義や有り様も見えてきたような気がしました。話題の種がたくさん出され、じっくり話し合いたいのは山々でしたが、ジャンボタクシー組は一足先に帰路に着きました。またいつか機会があることを願います。佐々木様、宮城の皆さんありがとうございました。

10月20日には、NHKテレビ Dear につぼんで「ひきこもりの息子へ」という佐々木さんを取材した番組が放送されました。

- ★ 6月11日、10月7日、秋田県健康福祉部障害福祉課の主催で「ひきこもり実態調査等に係る官民意見交換会」が開催され、ST代表が出席しております。家族会や当事者も委員として参加し意見を述べる機会を得たことを喜ばしいことと考えています。
- ★ 10月18日、秋田県子ども・女性・障害者相談センター主催の「秋田県ひきこもり相談支援連絡協議会」が開催され、ST代表と事務局 SY が参加しました。「家族相談から始まる支援」をテーマに、[にじの会]の皆さんによる「家族会」の実演が行われ、「きょうだい」の関わりなどとてもいいお話をたくさんお聞きできました。続いてのグループワークでは、機関・団体や職種や立場の異なる方たちから、市町村を越えた「家族会」の開催を望む声や介入の難しさなど様々な情報や状況、秋田県内でも実施が進んでいる「重層的支援体制事業」についても知ることができました。

 KHJ 関係の情報です。

- ★ 8月22日にKHJのホームページに本部理事会で副理事長と事務局長の解任されたことが公表されました。ご覧になった方もあると思いますし、この間の動きについて、[秋田ばっけの会]の会員及び関係の皆さまにかいつまんでお伝えいたします。

ほとんどの支部はホームページで知り得ましたので、本部理事会主催のオンライン支部長会議も2度開かれましたが、理事会の説明に納得できないと有志支部がオンライン会議を数回開催し、話し合いが行われました。[秋田ばっけの会]もこれに参加しています。事態を明らかにしたいと「臨時総会」の開催を求めることになりましたが、11月9日10日の全国大会 in 石川をKHJとして総力を挙げて成功させたいと「臨時総会」は石川大会終了後に行うことになりました。

今後の方向については、できるだけ事実を正確につかみ、会員の皆さまにしっかりと判断していただきたいと考えております。「ひきこもり基本法」も見え始めた今、納得できる方向で解決できればと念じております。日常の[秋田ばっけの会]としての活動は静かに進めて行きたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。(事務局 妹尾弘)

『KHJ理事会ニュース(石川大会案内/臨時増刊)』(10月15日発行)が届いています。大会案内特集として、基調講演、シンポジウム、各分科会の内容が紹介されています。

10月18日には、「支部情報交換会」が行われています。石川全国大会がテーマです。

『いわて石わりの会』から会報第39号(9月30日発行)が届いております。「東北ブロックの家族会との交流を振り返って」というタイトルで、これまでの北海道・東北の各支部との関わりを紹介しております。私たち[秋田ばっけの会]もこれまでたくさん刺激をいただいて来ました。



- ♡感謝
 - ・秋田市のIN様から年会費を、秋田市のIT様、「集い」参加の皆さまからご寄付を、秋田市のIU様からは[秋田ばっけの会]の名前入りの封筒をたくさんいただきました。
 - ・「集い」「居場所」に参加の皆さまからお菓子をたくさんいただきました。
 - 『たびだち』もお買い求めいただきました。
 - ・電話やメールなどでの連絡、お問い合わせやご相談もたくさんありました。

- ★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。
 - *切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。
 - *送金は、北都銀行 檜山支店 (名義) KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘 (店番) 015 (口座番号) 8108428

※通院などで事務局不在の場合もあります。ご連絡やお問い合わせはE-mailか携帯電話のSMSで。

※ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。